

ASEAN経済協力

日ASEAN経済強靱化アクションプラン（2020年7月）

I. 緊密な経済関係の維持

（過去の連携の再確認）

- ・ 従来のインフラ支援や人材協力等の強化と、緊密に連携して経済面での課題を乗り越えることを確認

→RCEP推進、キャピタル支援等の従来の連携の推進

II. 経済への悪影響の緩和

（現在の危機対応での協力）

- ・ 経済活動を極力止めない方針に合意し、世界に対する物資供給への最大限の努力を確認

→人流の制約を解消するデジタル技術の活用推進（ADX実証）等

III. 経済強靱化の推進

（未来に向けた共創）

- ・強靱性と競争力が両立する「強靱なサプライチェーン」構築、デジタル技術を活用したイノベーションを推進

→サプライチェーンの多元化補助金
→日ASEANビジネスウィーク 等

ポストコロナの成長を見据え

アジア・エネルギー・トランジション・イニシアティブ
“AETI”（2021年5月）

アジア未来投資イニシアティブ
“AJIF”（2022年1月）

1. ASEAN各国の実状と向き合い、実効的な解決策を提供する。
 2. 民間のイノベーションを最大限活用し、持続可能な経済社会の基盤を創る。
 3. 現地企業との協業などを通じ、日本と各国がパートナーとして地域の未来を共創していく。
- ⇒ 3つの理念に基づき、未来志向の新たな投資（未来投資）を積極的に推進。

日ASEAN経済大臣会合

- 日ASEAN経済協力について議論。従来は、ODAを活用したインフラ整備や産業人材育成が主。**近年は、高付加価値産業化、デジタルの活用、持続可能性の確保等にASEAN側の期待が変化。**
- 大臣からは、**現在の取組についてご紹介**いただくとともに、**日ASEANの経済界と創る「日ASEAN経済共創ビジョン」への協力を要請し、政府としての方針（日ASEAN未来デザイン&実行計画）の策定**を提案いただきたい。

これまでの日ASEAN経済協力

日ASEAN経済強靱化アクションプラン (2020年7月)

- ✓ COVID-19感染拡大を受け、日ASEANの経済・産業協力に関して具体的なプロジェクトを盛り込んだ実行計画。
- ✓ **今年**はアクションプランのレビューを実施。

ポストコロナの成長を見据え

アジア未来投資イニシアティブ (2022年1月)

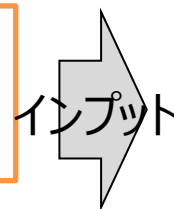
アジア・エネルギー・トランジション・イニシアティブ (2021年5月)

- ✓ ASEAN各国の実状と向き合い、日ASEANの**共創**により、イノベーションを活用し、**持続可能な経済社会**の基盤を創り、**未来志向の新たな投資**を推進する。

これらを踏まえ

日ASEAN友好協力50周年に向けて議論・策定

日ASEAN 経済共創ビジョン (2023年)



日ASEAN 未来デザイン & 実行計画 (2023年)

- ✓ **日ASEANの経済界と共に**、将来の日ASEANの経済関係の在り方の方向性を示す
- ✓ **日ASEAN政府が**、将来の日ASEANの**あるべき姿（未来デザイン）**を描き、それを達成するための**具体策（実行計画）**を記載

日本政府としての具体的取組（例）

- ✓ **デジタル技術**を活用した**サプライチェーンの高度化**
- ✓ 日ASEANで活躍する**起業家育成・ネットワークの構築**
- ✓ 社会課題解決に貢献する**ビジネスの共創**

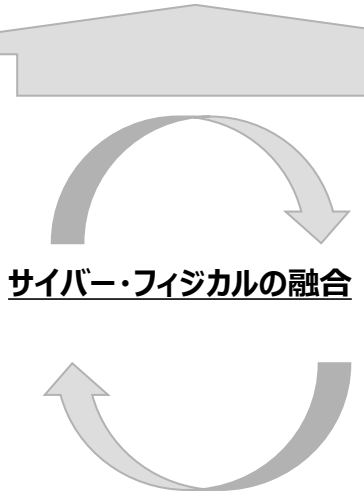
将来に向けた日ASEANの経済関係の検討の方向性について

- これまで、日ASEANでは、**地域統合に必要なフィジカルなコネクティビティ（インフラ、サプライチェーン）**や、**産業人材の育成**を進めてきた。**この基盤をASEANと共有していることは日本の強み。**
- その上で、**この基盤を活用**しながら、**デジタル技術／オープンイノベーション**の発展を活かして、日ASEAN双方が直面する**社会課題の解決・サステナビリティの実現**へ向けて**共創**していく。

日ASEAN共通の課題の解決

- ### 3. サステナブルな経済社会実現に貢献する産業の創造
- カーボンニュートラル／エネルギー安全保障確保
 - 食料安全保障の確保
 - 防災（レジリエンス強化へ向けた取組）
 - 健康・ヘルスケア 等

- ### 1. フィジカルなコネクティビティなど産業・貿易の基礎基盤の整備
- 都市地方（離島含む）それぞれ活かすための物流インフラ
 - グローバルなサプライチェーン・産業集積
 - 地域の商流を支えるFTA



- ### 2. デジタル・トランスフォーメーション、イノベーションの共創基盤の整備
- デジタルインフラ、データの流通・利用ルール等の整備
 - 次世代を担う若手・起業家等の人材ネットワーク
 - オープンイノベーション／共同研究が可能な環境

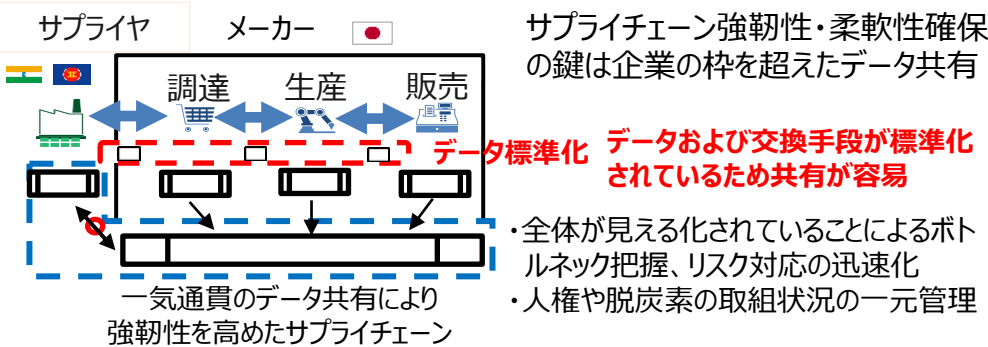
日ASEANが整備してきた強み

成長の鍵・ASEANはリープフロッグ的に成長

日ASEAN友好協力50年を迎える際の具体的プロジェクトのイメージ

1. デジタル技術を活用した サプライチェーン・インフラの高度化

● サプライチェーン高度化に向けたデータ連携・共有基盤の構築プロジェクト



- ・サプライチェーンデータ利活用ユースケースを100件創出
-半導体素材の透明性、貿易プラットフォームのデジタル化等
→サプライチェーン横断のデータ共有・活用データベースの構築
→サプライチェーンデータ共有のデファクトの構築を目指す

2. 日ASEANで活躍する 起業家育成・ネットワークの構築

1. 次世代イノベーターのための相互交流

- ・ASEAN諸国が直面する社会課題に対し、イノベーションを通じて解決を目指すスタートアップの創出を後押しするため、国内で選抜された起業家などを現地へ派遣し、起業家を育成。
- ・今まで見たこともないアイデア・技術を持つ異能人材を発掘し、日本への呼び込みを行い、人材育成プログラムへの参加を促すことを通じ、日本のスタートアップ・エコシステムを成長させる。

2. 日ASEANの若手起業家100人ネットワーク

- ・日本とASEAN各国から、将来ある起業家を集めてネットワーキング

3. NEXIによるファンドを活用した海外SU支援強化

- ・民間金融機関とも連携したNEXIの新しい貿易保険スキームを検討。日本企業との協業促進に向け、JETROとも連携。

3. 社会課題解決（食料・健康等） ビジネスの共創

● 日ASEAN共創型の社会課題解決ビジネスを毎年100件創出

- ・AI、IoT、衛星データ、ドローン等の技術を活用したスマート農業の実証プロジェクトの推進等を通じ、食料安全保障に貢献
- ・デジタル技術を活用した質の高い医療、遠隔医療を含む医療アクセス提供を可能にするバリューチェーンを構築 等